仕事を楽しむための WEBマガジン ビープラス B-plus に掲載中！

寺井工業

寺井周史 × 畑山隆則

畑山　解体工事業を手がけている寺井工業さん。事業内容について教えてください。

寺井　木造や鉄骨造、RC造などの総合解体業全般です。木造解体工事が最も多く、重機での作業は最小限に抑えつつ、熟練の作業員が丁寧に手作業で解体を進めます。鉄骨造解体工事は、木造と比較すると強度があるため重機の使用頻度も増えてきていまして。RC造は、鉄筋を骨組みとしたコンクリートで固めた建造物のことで非常に頑丈です。RC造解体工事には多くの手間と機材が必要で、完了するまで長期間必要なんですよ。保有重機は、油圧ショベルのバックホウ0・12㎥クラス 1台、2tダンプ 1台、3tダンプ2台となります。

畑山　ダンプを保有するには、廃棄物の運搬には免許が必要なんですよね？

寺井　その通りです。産業廃棄物収集運搬業もメイン事業の一つでして、京都府より認可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者となります。循環型社会の実現に向けて、「廃棄物処理法」に基づいた処理業務に責任感をもって取り組んでおります。

畑山　京都は入り組んだ土地柄なこともあり、家と家の間隔も狭そうなので工事には苦労も多いのでしょうね。

寺井　難しい現場ほどやりがいが感じられて楽しいですよ！　寺井工業は、SAFETY・SPEEDY・SMARTの「3S原則」を掲げるベンチャー企業として、昔ながらの解体業とは差別化を図っています。また、ユニフォームや身だしなみも含めて外見から気配りしています。施主様やご近所の方々と一定期間お付き合いしますから、お互いの信頼関係をつくることも、良質な工事を行うための条件の一つなんです。

畑山　素晴らしいと思います。どんな方と一緒に働きたいとお考えですか？

寺井　相手の立場になって考えられる人が一番です。私たちの仕事はチームワークで成り立っているため、一人の身勝手な行動が事故につながる可能性もあります。今後もプロ意識を持ち、チームで邁進していきますよ！

代表　**寺井周史**

叔父が経営する解体業を手伝いながら、立命館大学（夜間）法学部を卒業。大手ハウスメーカー１年間経験を積んだ後、不動産業に６年間従事し、解体業に戻る。2002年に寺井工業を創業。京都府を中心に関西圏で解体業を手がけ、確かな技術力と豊かなサービスマインドで高評価を得ている。

丁寧な解体をモットーに 匠の技術で顧客を獲得

〒615-0916 京都府京都市右京区梅津中村町30-2
［事業内容］各種解体工事／産業廃棄物の収集運搬
［設立］平成14年９月
［従業員数］３名
［主な取引先］ジャパン京都コーポレーション株式会社／株式会社マルトク産業
［ホームページ］
http://teraiindustry.com/

元ボクシング世界王者　畑山隆則

1993年プロデビュー。WBA世界スーパーフェザー級・ライト級で王座を獲得。日本人４人目となる世界２階級制覇を果たす。引退後はタレントやボクシング解説者として活躍。元世界ミドル級王者の竹原慎二氏とボクサ・フィットネス・ジムを運営する実業家でもある。

詳しくは、ビープラス「経営者インタビュー」にて　B-plus　仕事を楽しむ　寺井周史　検索